

ズック靴も「付け」でもらった。

僕は、新品の皮靴をはき、旅行カバンに新品のズック靴を、僕はニコニコしながら、つっこんだ。

その僕の顔を見て、修ちゃんは、「ほな、きいつけてなあ。」と、ニコニコしながら、自転車に乗り、バイバイの合図で、行ってしまった。

僕は「おおきになあ。」と言って、そこで修ちゃんと別れた。

大変、暑い。日がかんかん輝き、汗で体がベタベタ、わきが汗でしめっている。少し、また、皮膚が荒れはしないかと心配になるほど。

中華そば屋のそばを通った。昔、小学校一年の時、よく学校の帰りに、担任の榎元先生に連れて行ってもらった、例の中華そば屋だ。

「もう、九年になるなあ」と思った。その店を見ると、いつも、一緒に、中華そば食べてる榎元先生の顔を思い出す。